

## 【認定情報】 審査期間

### ● 認定審査期間の実績(2020.1月～3月)

	標準期間	実績
新規	2ヶ月	60～62日 (2ヶ月程度)
新規 (特定天井あり※1)	2.5ヶ月	-
計画変更	1.5ヶ月	45日 (1.5ヶ月程度)
計画変更 (特定天井あり※1)	2ヶ月	-
軽微な変更※2)	1ヶ月	15～39日 (1ヶ月程度)
軽微な変更 (特定天井あり※1)	1.5ヶ月	-

- は該当期間内での実績なしを示す

※1 特定天井がある場合は「通常の審査期間 + 0.5ヶ月」を目安としてください。

※2 変更が5項目以下の場合に、2週間程度で交付された実績があります。

- ・概ね標準期間で認定書が交付されました。(質疑等の対応に時間を要した案件は除く)  
国交省がテレワーク中のため、今後は期間が長くなる可能性があることをご了承ください。
- ・コロナウイルス対策対応により、対面での認定申請は原則行わないこととなっております。  
お急ぎの案件は、お早めに事務局までご相談ください。

## 【お知らせ】 新型コロナウイルス感染拡大への対応について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、当法人の対応方針を以下のとおりとします。

1. 委員会、部会、専門委員会は**予定通り開催**いたします。
2. 委員会等の開催は、**web会議システム**、または**TV会議システム**を原則用いて行います。
3. 委員の移動が必要な**工場審査**は、**原則見合わせ**ます。
4. **打合せ**につきましては、可能な限り、資料はメールや郵送で送付頂き、**web会議システム**のご利用をお願いしております。
5. やむを得ず来所頂く際には、**検温(37.5度以下)**、**マスクの着用**、**手のアルコール消毒**をお願いしておりますのでご了承ください。
6. 上記の対応は、2020年5月6日までの期間とします。  
(ただし、延長の可能性ががあります。)

尚、当法人職員は、**時差出勤**、**ローテーションでの在宅勤務**を実施しております。このため、担当者へは、なるべく**メールにてご連絡**頂きますようお願いいたします。

また、**東京事務所の営業時間**は、**9:00～15:00**に短縮されておりますので、ご注意ください。

色々にご不便をおかけ致しますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 【解説】長周期地震動作成における変更点

国立研究法人 建築研究所 長周期地震動対策に関わる技術資料・データ公開特設ページにおいて、追加、変更がありました(2019.11.14)。

特に規制強化というわけではなく、検討の煩雑さの改善、及び検討方法の具体が示されたものです。追加、変更点を赤字、赤枠で示します。

○変更：長周期地震動作成の際、ばらつきを適切に考慮するための周期領域の考え方について

観測データに基づく方法(別紙3\*)、または同等以上の方法により作成される地震動は、作成手法の不確実性等に伴うばらつきを適切に考慮することとし、別紙2\*)に示す地震動(10区域について示された基整促波)における建築物の一次固有周期付近の擬似速度応答スペクトル(pSv)、エネルギースペクトル(Ve)と同等以上であることを原則とする。免震建築物では、免震層の設計限界変位時の固有周期を上限とし、その0.8倍を下限とする周期の範囲までとする。

尚、既存建築物の再検証対象建築物の判定のためのスクリーニングにおいても上記変更は該当するが、既にスクリーニングを行ったものについて、再度行う必要はない。

\* ) 国立研究法人 建築研究所  
長周期地震動対策に関わる技術資料・データ公開特設ページ  
(<https://www.kenken.go.jp/japanese/contents/topics/lpe/index.html>)

○追加：基整促波②,③\*)作成の際の適切な位相の設定方法について

sPv(Ti,0.05)に合致するように作成される時刻歴波形のVe/pSvを、別紙2別添\*)に示す220地点のVe/pSvから最寄りの地点を選定して比較し、一次固有周期付近において同等以上となるように位相を設定する。これは、作成された時刻歴波形より算出されるVe(Ti,0.10)が、過度に変動することを抑えることを意図している。同等以上の判断は以下を目安とする。

(1) 最小スペクトル比

$$\varepsilon_{min} = \left\{ \frac{(V_e(T_i, 0.10)/pS_v(T_i, 0.05))_{obj}}{(V_e(T_i, 0.10)/pS_v(T_i, 0.05))_{ref}} \right\}_{min} \geq 0.85$$

(2) 平均値

$$\varepsilon_{ave} = \sum \left\{ \frac{(V_e(T_i, 0.10)/pS_v(T_i, 0.05))_{obj}}{(V_e(T_i, 0.10)/pS_v(T_i, 0.05))_{ref}} \right\} / N \geq 1.00$$

$V_e(T_i, 0.10)$  : エネルギースペクトル(減衰10%)

$pS_v(T_i, 0.05)$  : 擬似速度応答スペクトル(減衰5%)

obj : 作成する地震動の値を示す

ref : 代表地点(220地点)の値を示す

Ti : 一次固有周期付近で比較・判定する周期成分

N : 一次固有周期付近で誤差を比較・判定する周期成分の数

## 【イベント】セミナー開催報告

昨年度は『基礎的技術から先端技術へ』をテーマに掲げ、構造技術セミナーを開催いたしました。特別講演では、基礎構造、免震構造、RC構造に関する研究成果や取り組み等についてご講演頂きました。

### 特別講演 (3題)

- ① 建築基礎構造の2次設計に必要な地盤情報  
新井 洋氏【国立研究開発法人建築研究所 上席研究員】
- ② 免震建築物～これまでとこれから～  
井上波彦氏【国立研究開発法人建築研究所 上席研究員】(講演時)
- ③ 鉄筋コンクリート造に関する基礎的実験と先端実験  
壁谷澤寿海氏【東京大学 名誉教授】

東京会場 (建築会館) では126名、大阪会場 (中之島会館) では195名の方々にご参加いただきました。お忙しいところ、多くの皆様にご来場いただき誠にありがとうございました。



東京会場の様子



大阪会場の様子

### 【編集後記】

新型コロナウイルス感染拡大で、不安、不便、不足の「三不」の日々ですが、発想を転換してポジティブにがんばりたいと思います。とは言うても、たまるストレス……。晴れた日は空を見上げて深呼吸です。ただし、周りに人がいない時に！(K)

## 【お知らせ】Facebookページ開設

「GBRC性能評定課」のFacebookページを開設しました。色々な情報を随時発信していきますのでぜひご覧下さい！



会員登録不要!

gbrc性能評定課 facebook

URL (<https://www.facebook.com/gbrc.or/>)



発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所  
建築確認評定センター 性能評定課  
担当：甲谷、山崎、尻無瀨  
TEL：06(6966)7600 FAX：06(6966)7680  
E-mail：seinou@gbrc.or.jp